

KOIZUMI HIDランプ用安定器取扱説明書

お客様へ

部品の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

保存用

工事店様へ

施工前には、この施工説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
取扱説明書は必ずお客様へお渡しください。

【安全上のご注意】

 警 告		この表示を無視して誤った取り扱いをすると 死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	
 禁止	安定器は下記の使用環境、条件では使用しないでください。 →間違っていると感電・火災・落下の原因となります。 ・周囲温度が常時40℃以上の所 ・湿度が85%以上及び水気のはね返る所 ・腐食性ガス・可燃性ガス・塩害の生じる所 ・振動・衝撃の激しい所 ・粉塵の多い所	 厳守	屋外又は雨水のかかる恐れのある所では、安定器の口出線を下向きに取付けてください。又、積雪や雨水のはね返り等で、口出線部より水気が侵入しないよう取付高さ等に十分気をつけてください。 →雨水等が浸入すると絶縁が低下し、漏電・感電の原因となります。
	安定器のランプ側を器具に接続しないままで放置しないでください。 →確実な絶縁処理をせず未結線のままで電源を入れますと、電線が焼損し火災の原因となります。		電線の絶縁体に刃物等による傷を付けないようにしてください。 →絶縁破壊による漏電・感電・火災の原因となります。
 分解禁止	管灯回路内に中間ジョイントとして、コンセント等の接続器を使用しないでください。 →絶縁破壊による火災の原因となります。	 アース工事	高圧危険 ランプ始動のため、2～5KVの高電圧パルスが安定器のランプ側に発生しますので、活線作業をしないでください。 →電撃による感電、墜落等の原因となります。 （水銀ランプ使用時は除く）
	安定器の構造を変えたり、ケースを開けたりしないでください。 →感電・火災・落下の原因となります。		ランプ交換や保守点検の際は、必ず電源を切って行ってください。 →感電の原因となります。
			万一、煙・異臭など異常を感じたら、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。 →異常状態のまま使用すると感電・火災の原因となります。

 注 意		この表示を無視して誤った取り扱いをすると 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。	
 禁止	安定器は必ず適合するランプ（安定器の銘板に表示）と組合わせてご使用ください。 →ランプの破損・短寿命・安定器の短寿命の原因となります。	 禁止	冬期など、長時間使用しない施設では、周辺の湿気により絶縁が低下し、漏電・感電の原因となります。湿気対策として定期的に通電してください。
	布や紙、断熱材を安定器の上に置いたり、かぶせたりしないでください。 →温度が高くなり、保護機能が動作したり、火災の原因となります。		安定器の取付、配線は施工説明書に従い、結線は安定器の銘板に表示してある接続図通りに確実に行ってください。 →間違っていると取付配線しますと、安定器の落下・焼損又はランプの不点灯・破損等の原因となります。
	安全に使用するため、3～5年に一回は工事店等の専門家による保守点検を実施していただき、不具合がありましたら交換してください。 →寿命末期（一般に寿命の目安は10年）には異常発熱・発煙・発火の原因となります。		安定器は接地工事が必要です。入力又は出力電圧が300V以下のものはD種接地工事を、300Vを超え600V以下のものはC種接地工事を「電気設備技術基準」に準じて施工してください。 →接地工事をしないと感電の原因となります。

CDM用(セラミックメタルハライド灯)用安定器(パルス停止機能付き)共通施工説明書

製品概要

型 番	定格電圧	適合ランプ	電圧変動範囲	管灯回路配線長
AEG690144	100V	CDM-T35W/830	定格値±6%	15m
AEG690145	200V			
AEG690146	100V	CDM-R70W/830 CDM-TP70W MT70CE-W-2 MT70FCE-W-2		
AEG690147	200V	CDM-T70W MT70CE-LW-2 MT70FCE-LW-2		
AEG690148	100V	CDM-TD70W MT70CE-WW-2 MT70FCE-WW-2		
AEG690149	200V	CDM-T150W MT150CE-LW-2 MT150FCE-LW-2		
		CDM-TD150W MT150CE-WW-2 MT150FCE-WW-2		
		CDM-TP150W MT150CE-W-2 MT150FCE-W-2		

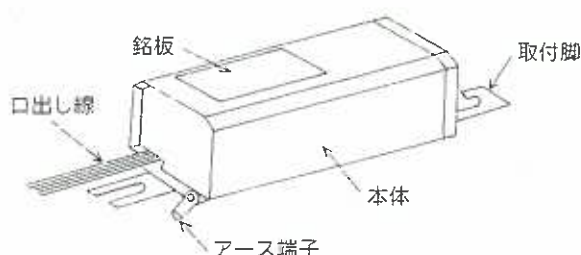
※周囲温度-10℃～40℃、周囲湿度35%～85%でご使用ください。

※上表の使用条件を守って使用してください。間違えると安定器の短寿命等の原因となります。

各部の名称と取付条件

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。

<安定器の取付条件>



	垂 直 取 付	水 平 取 付	横 向 取 付
使用場所			
屋 外	○	×	×
屋 内	○	×	○

安定器の取付

- ・取付前に安定器の重量に耐えるよう、取付部の強度を確認してください。
- ・取付脚が可動式の場合は、いっばいに引出してネジで固定してください。
- ・安定器は図の取付条件で取付脚を取付ボルトに確実に固定してください。
- ・安定器を2台以上並べて設置する場合は、安定器の本体ケースの幅以上間隔を開けて通風に注意してください。
- ・安定器をポール内に設置する場合は、水抜き工事をして、絶縁が低下しないようにしてください。
- ・天井裏等に設置する場合は、容易に点検できるように施設してください。これは、火災の危険を防止し、定期点検、異常時の処置を行うため「電気設備技術基準」で定められています。

安定器の配線

- ・ランプと安定器間の管灯回路配線長は、“製品概要”の表の値以内としてください。
この長さを超えますとランプが始動しないことがあります。
- ・安定器のランプ側口出線と器具間の配線は、600Vビニル絶縁電線と同等以上の絶縁性能を持つ電線を使用し、接続箇所は圧着端子等によって結線後、確実な絶縁処理を行ってください。
- ・安定器の青色口出線は器具のソケットの中心接点側に接続してください。逆接続しますと、不点灯、感電、焼損等の原因となることがあります。

使用上のご注意

- ・安定器の銘板に表示された電源電圧(変動範囲内)、周波数以外の電源で使用しないでください。
安定器、ランプの短寿命の原因となります。
- ・ランプが不点になったり、点滅を繰り返す場合は、そのまま放置しないですぐに電源を切り、ランプを交換してください。
- ・ランプ交換は必ず電源を切ってから行なってください。電源を入れたままでランプ交換してもランプは点灯しません。
- ・落雷等による瞬時的停電の場合は、パルス停止機能が作動したまま、復帰しないことがあります。その場合、電源を一旦切ってから再投入してください。
- ・電源を切った後、2秒以内に再投入した場合、パルス停止機能が作動したままであり、点灯しません。電源は2秒以上経過後再投入してください。

保証とアフターサービスについて

保証について

- ・この照明器具の保証期間は、製品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯器具・HID器具の安定器は3年間です。
- ・ランプ、グロー点灯管、電池などの消耗品は対象外です。
- ・24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。
- ・取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間中に故障した場合に無償修理させていただきます。

修理を依頼されるとき

- ・ご使用中に異常が生じた場合は、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。
- ・ご贈答品やご転居などでお買い上げの販売店(工事店)にご相談できない場合や、アフターサービスに関するご相談、ご不明点は、別紙「お客様相談窓口のご案内」各窓口までお問い合わせください。